

# 鍼灸で 健やかに！

7

登美ヶ丘治療院長

野口 創



注射や神経根ブロック注射、ステロイド注射等を行う。急性期を過ぎた痛みには牽引(けんいん)療法などを行う。

しかし、問題は、手術を受けても、保存療法を長期的に受けても、痛みや諸症状が緩和・治癒されにくいケースが多く、現在では、整形外科医も鍼灸治療を勧めることが多く、鍼灸治療を併用する患者が非常に多くなっている。

中国医学の腰椎椎間板ヘルニアに対する治療は、漢方薬よりも鍼灸治療を主に行う。まず腰部の血行などが滞る原因となる堅くなった腰部周囲に鍼治療を

## 腰椎椎間板ヘルニア

背骨には骨と骨の間にクッションの役割をほたす椎(つい)の間板と呼ばれる軟骨がある。この椎間板は、外側部分は比較的硬いゴム状で、中心部分(髓(すい))核は柔らかいゼリー状になっている。腰椎椎間板へ

る。この症状を「ぎっくり腰」と呼んでいる。椎間板の外側に亀裂が生じ、そこからゼリー状の髓核が飛び出した状態のこと

で、さらに飛び出した椎間板が神経などを圧迫することにより、腰や足に痛みやしびれなどの症状を引き起こす。

現代医学の治療では、保存療

# 細微な電流流し軽減

ルニアは、重いものを抱え上げるときに、突如、腰に痛みが走

法60%、手術療法40%が行われ

ている。

保存療法で

は、急性期には安静にし、腰への負担を軽減させるためのコルセットを着用。消炎鎮痛剤や非ステロイド性抗炎症薬、筋弛緩(しかん)薬を服用して減痛を図る。さらに激しい痛みには、硬膜外ブロック



坐骨神経の流れ



筋肉の弛緩  
血液循環や  
リンパの流れ改善



微細な電流を流す機器

は、急性期に腰への負担を軽減させるためのコルセットを着用。消炎鎮痛剤や非ステロイド性抗炎症薬、筋弛緩(しかん)薬を服用して減痛を図る。さらに激しい痛みには、硬膜外ブロック

効性を実感した。